

## パーキンソン病療養の手引きの改訂

研究分担者 高橋良輔 京都大学医学研究科臨床神経学・教授

共同研究者 渡邊宏久<sup>1)</sup>、野村哲志<sup>2)</sup>、前田哲也<sup>3)</sup>、馬場康彦<sup>4)</sup>、下畑享良<sup>5)</sup>、斎木英資<sup>6)</sup>、  
栗崎玲一<sup>7)</sup>、澤本伸克<sup>8)</sup>、平野成樹<sup>9)</sup>、金子鋭<sup>10)</sup>、西川典子<sup>11)</sup>、高橋牧郎<sup>12)</sup>、下泰司<sup>13)</sup>、  
服部信孝<sup>13)</sup>、山本敏之<sup>14)</sup>、大江田知子<sup>15)</sup>、高橋一司<sup>16)</sup>、柏原健一<sup>17)</sup>、山門穂高<sup>18)</sup>、  
中島健二<sup>2)</sup>、野元正弘<sup>11)</sup>、長谷川一子<sup>19)</sup>  
名古屋大学脳とこころの研究センター・神経内科<sup>1)</sup>、  
鳥取大学脳神経内科<sup>2)</sup>、岩手医科大学神経内科・老年科分野<sup>3)</sup>、  
東海大学神経内科学<sup>4)</sup>、新潟大学脳研究所神経内科<sup>5)</sup>、北野病院神経内科<sup>6)</sup>、  
NHO 熊本再春荘病院神経内科<sup>7)</sup>、京都大学人間健康科学<sup>8)</sup>、千葉大学神経内科<sup>9)</sup>、  
関西医科大学神経内科<sup>10)</sup>、愛媛大学薬物療法・神経内科学<sup>11)</sup>、大阪赤十字病院神経内科<sup>12)</sup>、  
順天堂大学脳神経内科<sup>13)</sup>、国立精神・神経医療研究センター病院神経内科<sup>14)</sup>、  
NHO 宇多野病院神経内科<sup>15)</sup>、埼玉医科大学神経内科<sup>16)</sup>、岡山旭東病院神経内科<sup>17)</sup>、  
京都大学神経内科<sup>18)</sup>、NHO 相模原病院神経内科<sup>19)</sup>

### 研究要旨

「パーキンソン病と関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症）の療養の手引き」が、「神経変性疾患に関する調査研究班」（主任研究者 葛原茂樹）の事業として平成 17 年に発行され、現在まで広く活用されてきた。しかし、発行後約 10 年が経過し、この間に非運動症状が注目されて多くの知見が集積され、治療についても顕著な進歩があった。こうした背景から、神経変性班内外の中堅・若手の専門家を中心にご協力、ご執筆をいただき、本研究班の事業として改訂版を作成した。現在、改訂版の「パーキンソン病の療養の手引き」は、「神経変性疾患領域における基盤的調査研究班」（中島班）のホームページからダウンロード可能となっている。今後は多くの方々に提供してご意見をいただき、表現や用語をより親しみやすく、よりわかりやすいものとするべく改訂を重ねたい。

### A. 研究目的

「パーキンソン病と関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症）の療養の手引き」は平成 17 年 3 月、当時の厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「神経変性疾患に関する調査研究班」（主任研究者 葛原茂樹）の事業として作成された。これは「研究班の成果をできるだけ分かりやすい形で、患者さんやご家族、医療や福祉

の関係者に提供して、ご批判を仰ぐと同時に活用していただく」（「ごあいさつ」より引用）目的に沿ったものであった。神経難病が患者をはじめとする医師以外の関係者にとって理解しにくいことに配慮し、患者さんやご家族、医療や福祉の関係者からよく質問される項目を抽出し、すべてが Q&A 形式で構成された、病気に関するわかりやすい手引き書に仕上げられた。これは現在も神経

変性疾患領域における基盤的調査研究班（中島班）のホームページ  
 (<http://plaza.umin.ac.jp/~neuro2/index.html>) から無料でダウンロードでき、広く活用されている。しかしその後 10 年近くが経過し、その間の診療の進歩に対応する必要が生じたため、本研究班の事業として改訂版を作成した。

## B.研究方法

前回の療養の手引き以来、QOL に大きな影響を与える因子として自律神経障害、睡眠障害、精神症状、認知機能障害、疼痛・感覚障害、疲労等の非運動症状が注目され、多くの知見が集積されてきたこと、パーキンソン病の薬物療法、手術療法も顕著に進歩したことに対応した改訂を行った。執筆に関しては神経変性班内外の有識者の協力を仰ぎ、多くの患者さんやご家族、医療や福祉の関係者に役立つ手引きの作成を目指した。

## C.研究結果

改訂版は以下の内容とした(敬称略)。

### 【目次】

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 1. 総論     | [京大: 高橋 良輔]                  |
| 2. 臨床症状   |                              |
| 運動症状      | [京大: 高橋 良輔]                  |
| 非運動症状     |                              |
| 自律神経症状    | [名大: 渡邊 宏久]                  |
| 睡眠障害      | [鳥取大: 野村 哲志]                 |
| 精神症状/認知障害 | [岩手大: 前田 哲志]<br>[福岡大: 馬場 康彦] |
| 疼痛/感覚障害   | [新潟大: 下畑 享良]                 |
| 治療の運動合併症  | [北野: 斎木 英資]                  |
| 合併する身体疾患  | [熊本再春荘: 栗崎 玲一]               |
| 3. 診断     |                              |
| 診断/検査     | [京大: 澤本 伸克]                  |
| 鑑別診断      | [千葉大: 平野 成樹]                 |
| 4. 経過     | [関西医大: 金子 鋭]                 |
| 5. 治療     |                              |
| 運動症状      |                              |

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 早期治療/選択薬  | [愛媛大: 西川 典子]     |
| 進行期治療     | [大阪日赤: 高橋 牧郎]    |
| 外科的治療     | [順天堂: 下 泰司/服部信孝] |
| リハビリテーション | [国立精神神経セ: 山本 敏之] |

## 非運動症状

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 自律神経症状    | [名大: 渡邊 宏久]                  |
| 睡眠障害      | [鳥取大: 野村 哲志]                 |
| 精神症状/認知障害 | [秋田脳: 前田 哲志]<br>[福岡大: 馬場 康彦] |
| 疼痛/感覚障害   | [新潟大: 下畑 享良]                 |

## 6. 日常生活における注意

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 運転/転倒予防など | [宇多野: 大江田 知子] |
| 自律神経症状など  | [埼玉医大: 高橋 一司] |

## 7. 患者・家族への支援 [岡山旭東: 柏原 健一]

## 8. 開発中の診断/治療法 [京大: 山門 穂高]

## D.考察

現在、改訂版の「パーキンソン病の療養の手引き」は、「神経変性疾患領域における基盤的調査研究班」(中島班)のホームページ

(<http://plaza.umin.ac.jp/~neuro2/index.html>) からダウンロード可能となっている。今後は多くの方々に提供してご意見をいただき、表現や用語をより親しみやすく、よりわかりやすいものとすべく改訂を重ねたい。

## E.結論

「パーキンソン病と関連疾患(進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症)の療養の手引き」が平成 17 年に発行され、現在まで広く活用されてきた。しかし、発行後約 10 年が経過したことから、神経変性班内外の中堅・若手の専門家を中心に協力、ご執筆をいただき、本研究班の事業として改訂版を作成した。今後は多くの方々に提供してご意見をいただき、表現や用語をより親しみやすく、よりわかりやすいものとすべく改訂を重ねたい。

## F.健康危険情報

該当なし

## G.研究発表

### 1. 論文発表

- 1.高橋良輔・研究分担者『パーキンソン病の療養の手引き』(2016年12月) [「神経変性疾患領域における基盤的調査研究班」(中島班)のホームページ ( <http://plaza.umin.ac.jp/~neuro2/index.html> ) からダウンロード可能]
- 2.樽野陽亮、高橋良輔「パーキンソン病の治療」Medical Practice 第33巻臨時増刊号『最新のガイドラインを生かした日常内科診療 - その充実とレベルアップを目指して - 』、154 - 160、2016
- 3.生野正嗣、高橋良輔「パーキンソン病と類縁疾患」臨床と研究 92巻6号、728 - 732、2015
- 4.服部信孝、村田美穂、高橋良輔、武田篤、坪井義男「パーキンソン病の進歩ー病態解明そして新規治療はどこまで進んだか」日本医師会雑誌 144巻第8号、1561 - 1574、2015
- 5.樽野陽亮、高橋良輔「パーキンソン病の疫学と診断」老年精神医学雑誌 25巻11号、1199 - 1208、2014

### 2.学会発表

該当なし

## H.知的所有権の取得状況(予定を含む)

### 1.特許取得

該当なし

### 2.実用新案登録

該当なし

### 3.その他

該当なし